
恋の詩

ゆとり少女

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の詩

【Zマーク】

Z88970

【作者名】

ゆとり少女

【あらすじ】

ただ単に人を好きになった詩です。

人を好きになるということは非常に危険なことなのです。
と分かってもらいたかっただけw

愛しすぎて愛しすぎて(ゝゞ)

言葉に出来ないドキドキと別れが近づく悲しみが交わった気持ち。
あまり近づかないで欲しい。動搖と興奮が表に表れて君を困らせる。
遠くでもいいから見ておきたい。君に話しかけられなにように私は
普通に行動するし、私から話しかけることは出来ない。

夢の中の手の冷たさと天使の悪戯は君を好きになつた後悔と苦しみ
を考えさせられる。なぜ好きになつたのか、今頃君を好きになる私
の気味地が分からぬ。

私はそんなに君のことを調べたいとは思わないし、君はそんなに私の
ことを思つてはいるわけではない。

君がもし私に話しかけたら、道端で会つたらと思うとそうなつて欲
しいがために願つてしまつ。もしさうでなくとも私はただ君を見て
いるだけで私の気持ちが和む。

君の話すると私の気持ちが高ぶつてしまつ。好きという気持ちが
私を惑わし、知らないうちに好きという感情すら感じられなくな
るだろ？。

(後書き)

好きになってしまったことを書きました
好きな人は教えません^ ^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8897o/>

恋の詩

2010年11月13日20時55分発行